

会 議 録

会議の名称	第4回中野市総合計画審議会
日 時	令和7年11月6日(木) 10:00~11:10
会 場	中野市役所 会議室 52・53
出席者等 (敬称略)	<ul style="list-style-type: none">・中野市長 湯本 隆英・委員：12名 有賀 透、増田善行、土屋武俊、平野正隆、塩野谷亮子、畔上忠治、高山定紀、市川真一、沼田拓也、三森和子、間峠未希、小林正二 (欠席委員：7名 阿部ひろ美、徳竹佐織、酒井 久、小澤美津恵、江原宏晃、岡田哲也、望月 隆)・市出席：4名 総務部長 栗林淳一、企画財政課長 阿藤博之、企画財政課長補佐 町井雅之、担当・仲條光裕 計17名
次第	<ol style="list-style-type: none">1 開会2 委員の委嘱3 あいさつ4 諮問5 会議事項 (1) 基本計画(案)について《資料1》6 その他7 閉会
発言内容	別紙のとおり



湯本隆英市長 あいさつ



市川真一会長 あいさつ

【別紙】

第4回 中野市総合計画審議会

1. 開会 (10:00)

2. 委員の委嘱

事務局	<ul style="list-style-type: none">●選出母体で交代された方へ委員を委嘱。<ul style="list-style-type: none">・信州中野商工会議所から会頭の市川真一委員。●委員の交代により不在となっている会長職について、市川委員に会長職へ就いていただくことを事務局案として提案。<ul style="list-style-type: none">➡委員の賛成多数により承認。
-----	--

3. あいさつ

市川会長	<ul style="list-style-type: none">・ただいま委員の皆様から中野市総合計画審議会の会長を仰せつかりました信州中野商工会議所の市川真一です。・この11月1日からの役職スタートであり、新参者ではありますが、皆様とともに明るい中野市を作り上げていきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。・今後のまちづくりの新しい指針となる計画を策定するという、大変重要な審議会の会長ということではありますが、前会長に引続き、市民の目線に立った明るく住みよいまちづくりができるよう努めて参ります。・前回までご審議いただいた基本構想については、9月市議会定例会において議決されたと聞いております。・本日から、構想をより具体的にした基本計画(案)について、集中審議をいただきたいと考えております。・委員の皆様のお知恵をお借りし、よりよい計画となるよう進めて参りますので、格段のご協力をお願いしまして、あいさつとさせていただきます。
湯本市長	<ul style="list-style-type: none">・本日は大変お忙しい中、第4回総合計画審議会にお集まりいただき、心より感謝申し上げます。・また、日頃は市政運営にあたりまして、委員の皆様におかれましては、各分野で様々なご尽力をいただいておりますことに、厚く敬意を表する次第であります。・さて、基本構想につきましては、本年9月の市議会定例会においてお認めいただきました。委員の皆様には、あらためて御礼申し上げます。・本日からご審議いただく第3次総合計画の前期基本計画につきましては、市民アンケートや「お出かけ市長室」等を通じて出された意見を反映し、本市の目指す未来の羅針盤となるよう策定を進めて参りました。・また、市民と行政が目標を共有したまちづくりの実現を図ることができるように、分かりやすい計画づくりを意識して進めて参りました。

	<ul style="list-style-type: none"> ・そのため、前期基本計画を進めていくに当たり、どのような部分に力をいれていくのかを分かりやすくするため、「重点テーマと6つのNew Nakanoターゲット」を設けております。 ・重点テーマにつきましては、「住みよさで選ばれる『薔薇色のまち』なかの」と設定いたしました。 ・こちらのテーマに込めた思いとしましては、少子高齢化、東京圏一極集中が続く社会の中でも、本市の魅力をいかし、今住んでいる市民の皆様をはじめ、これから市へ移住される方からも選んでいただける市を目指していくことを、市の花であるバラに例え、明るい未来を描いていくイメージで設定いたしました。 ・この後、基本計画（案）について諮問させていただきますが、十分ご審議のうえ、皆さまからの忌憚のないご意見を頂戴いたしますことをお願い申し上げます、私からのあいさつとさせていただきます。 ・本日はよろしく願いいたします。
--	---

4. 諮問

湯本市長	(別紙《諮問書》を読み上げ、市川会長へ渡す)
------	------------------------

5. 会議事項

(1) 基本計画（案）について《資料1》

- ・資料1に基づき事務局から説明

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・先ほど市長からも経過等を申し上げましたが、基本構想策定時にそれぞれの方からいただいたご意見につきましても、できる限り今回作成した計画案に反映させていただきました。 ・本計画案は、令和8年度から11年度までの4年間を計画期間とする第3次総合計画の前期基本計画を作成したものであります。 ・計画案の3ページをご覧ください。 ・第1章では、前期基本計画の概要として、計画の位置づけと計画期間について記載をしております。 ・4ページ、5ページをご覧ください。 ・第2章では、施策の展開として全体像で基本政策につながる政策と施策を体系図に表しているほか、施策の内容について解説をつけております。 ・7ページからは、施策の展開として、6つの基本政策ごとに関連する施策をまとめております。 ・8ページ以降にあります各施策の説明については、施策内容が見やすくなるように、施策ごとにページを設け、可能な限り各施策1ページの中にもまとめるようにしております。
-----	---

- ・各ページの施策の記載方法は、ページの上段にその施策の目標となる「施策の方向」、中段に政策を実現するための取組となる「事業や取組」、下段にその手段が有効に働いているかを確認するための「重要業績評価指数(KPI)」を記載しております。
- ・以下同様の構成で、59 ページまで本市行政の全分野について取りまとめております。

- ・続きまして 60 ページをお願いします。
- ・前期基本計画を進めていく上で、どのような項目に力を入れていくのか分かりやすくするため、「重点テーマと New Nakano ターゲット」を設定しております。
- ・重点テーマにつきましては、先ほど市長から説明があった「住みよさで選ばれる『薔薇色のまち』なかの」といたしました。
- ・この重点テーマを実現するために特に力を入れていく目標として、6つの「New Nakano ターゲット」を掲げ、各指標による評価・改善を実施し、事業内容の進捗を図っていくこととしております。
- ・なお、61 ページ以降に記載している各指標は、「New Nakano ターゲット」のために新たに設けているものではなく、前期基本計画の施策の中で、目標達成のために重点的に進めていくべき施策を検討して設定しております。
- ・また 61 ページ以降の中段に、「目指す状態を実現する手段」として、各プロジェクトと内容を記載しておりますが、表の一番右側にありますとおり、関連する施策の紐づけをしております。
- ・それぞれの指標や手段に関連する施策を記載することで、それぞれの内容が前期基本計画のどの施策に関係しているかが分かるようにしております。

- ・続きまして 67 ページをご覧ください。
- ・New Nakano ターゲットと「まち・ひと・しごと創生総合戦略」との関係としまして、図で示していますとおり、令和7年度まではそれぞれ独立した計画として作成していたものを、本計画からは一体化させることとしております。
- ・総合戦略と総合計画を一体化させることにより、双方の関係性を明確にし、進行管理と事務の効率化を図ることを狙いとしております。

- ・続きまして 68 ページをお願いします。
- ・将来人口の推計として、「①第3次中野市総合計画 前期基本計画 最終目標年度」にありますとおり、令和11年度の目標人口を3万9000人と設定いたしました。

	<ul style="list-style-type: none"> ・最後に 69 ページをご覧ください。 ・本計画の進捗管理に当たっては、基本となる PDCA サイクルのほか、今まで以上に基本計画の進捗管理を行うため、New Nakano ターゲットについては、各指標により、毎年度評価・改善を行っていくこととしております。 ・本日審議会に諮問を行い、パブリックコメントを 1 カ月程度実施し、市民の皆様から計画に対する意見を募集することとしております。 ・説明につきましては以上です。
市川会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ただいま事務局から説明がありました。 ・資料につきましては、事前に皆様へ送付されており、既に一読された委員もおおいでかと思われま。 ・ここからは、先ほど示された 6 つの基本政策ごとに、皆様からのご意見をいただきたいと思ひます。 ・はじめに基本政策 1、資料のページで言ひますと、7 ページから 15 ページまでの間について、ご質問、ご意見等がありましたらお願いしませ。
A 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・当然人口が少なくなってくるわけですが、その中でも移住者を増やし、自然減をなるべく抑えることが重要。 ・子育て支援のところ、妊娠・出産・育児、移住者の方は住居費について、補助、支援の具体的ところがあまり書かれていません。 ・その辺のところは、どのようにお考えでしょうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料 8 ページに記載の「事業や取組」①～⑧について、今後取り組んでいく予定であります。 ・委員がおっしゃられる人口減少対策については、この基本計画全体で取り組んでいく必要がある問題だと考えております。 ・特に重点施策でも申し上げました 6 つのターゲット、この 6 つをしっかりとやっていくことによって、出生数や人口増につなげていきたいと考えております。
B 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て施策について、大変重点的に考えていただひていてありがたいのですが、その前の「婚活支援活動」。 ・いろいろな団体を集めながら、ますます力を入れていただくよう願ひします。 ・私、竹原で農業をやっていますが、後継者問題があります。 ・1 人で農業の継続ができなかつたり、お嫁さんがいらつしやらなかつたりで、親子 2 人でやっているというような状態が目立ってきております。 ・うちは幸ひに、後継者ががんばっていますけど、あと 10 年も経てばどうなってしまうのかと家でよく話をして心配しています。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・貴重なご提案ありがとうございます。 ・実は庁内の策定委員会の中でも、結婚支援と子育てを一緒にしていいかどうかという議論がありました。 ・体系上、この施策を合体しているということについて、ご理解いただきたいと思ひます。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8 ページに記載の婚活支援事業についても、マッチングシステム、婚活アプリを推進します等、もっと具体的に書きたかった部分もありますが、一方対面式でやるとなかなか人が集まらなかったり、デリケートな問題でもあります。 ・ いい取組の内容があれば、この基本計画を策定していく上で大いに反映をしていきたいと考えております。
C 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「子どもど真ん中」ということで、教育委員会の関係ですので、特に小中学校の関係で関わりがあると考えています。 ・ これから中学校では部活動がなくなるんです。 ・ 今までは、中学校に入ったら、心も体も伸びる時期だから運動をやらせたいと考えていた保護者の方もいたし、子どもたちにとってもすごく大きな部分を占めていたのが「部活動どうしようかな」ということがあったかと思えます。 ・ これからは地域移行ということで、地域の方でやるには、指導者の方にお金を払って指導をしてもらい、休みの日にどこかで集まってとなると、ある程度機動力がない家庭については、なかなかやらせることも難しい時代になってくるのかなど。 ・ この先、子どもたちの体力とか、仲間とか、いい部分での上下関係とか、危惧している部分もあります。 ・ これからどうしていくかという、そこに頼るのではなくて、そこに代わるような魅力ある学校づくりがすごく大事になってきます。 ・ 「学校に行きたい」、「学校に行けばすごく楽しい」、「休みの日でも早く学校に行きたくてウキウキわくわくする」ような、そんな学校にしていかなければいけないかなというふうに私自身思っております。 ・ 地域の皆様には、中学校であれば、ジョブセミナーとか職場体験で、様々な職場で働かせていただいて、自分の適正を見つける、そんなことにご協力をいただき大変助かっております。 ・ 13 ページの②で、「不登校児童・生徒の支援体制の充実」とありますが、今すごく不登校・不登校傾向の子どもが増えているという状況があります。 ・ 学校では、どの子にも個別最適な教育ということで、学校になかなか足が向かないお子さんにはフリースクール、また、学校に来て友達と活動は一緒にできないけれど、がんばって来て、勉強をしているお子さんもいます。 ・ 教室には入らないけれども、高校を目指して一生懸命やりたいというお子さんには、学校も工夫をして別室で教室の授業が見られるような形にして学習をすとか、家でもそれができるような形で、いろいろな取り組みをしています。 ・ とにかく子どもたちが多様化していて、その子たち全員丁寧にやりたいのですが、そんなわけにもいかない部分もある中で、できるだけいろいろな子たちが充実した生活が送れるように、いろんな学びの場を学校の方でも工夫してやっています。

	<ul style="list-style-type: none"> ・そのためには、教員だけでは見ることには限界があります。 ・市の方でも、支援員などを少ない予算の中で、配慮していただいています。 ・本当に感謝いたします。 ・子どもたちも、これから中野市を支えていくということであれば、将来働いてお金を稼いで、言い方が悪いかもしれませんが税金を払える子どもたち、そういうふうに育てたいということを考えると、学校教育というものが充実したところでなければいけない。 ・今後難しい部分があるかと思いますが、「最小限の支援で最大限の効果を生む」、そういう支援をみんなで心がけていって、ただ人数増やせばいいというものではなくて、少ない中でも工夫しながら、最小限の支援で子どもが自立していく、そういう子育て・教育ができるようにしてほしい。 ・今後、お金の話が出てくるかと思いますが、将来の子どもたちのために、できるだけ減らさないように切にお願いをしたいなと思っております。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・貴重なご意見ありがとうございます。 ・前段お話がありました部活動の関係につきましては、13ページの④で記載をさせていただいているほか、体力面等につきましても、基本政策4の「スポーツレクリエーションの振興」等において、具体的に取組んでいかなくてはならない内容だと思っております。 ・一番は不登校児童・生徒の支援体制充実ということで、これについては市長部局や庁内策定委員会でも、もっとウエイトをあげたり、もっと内容的に財政支援も含めて記載をしていかなくてはならないかなという議論はされた次第です。 ・正直に言いますと教育費については、財政的にかなり伸びている状態ではあります。 ・そんな中、財政的な支援措置という今ご意見いただいた内容を、もう一度13ページ②の中で深掘りして、予算の財政措置をして取組んでいきたいと思えます。
D委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ここに書かれている1から6の項目は、前回の基本構想で挙げられたNNの1から6に相当するのだと思います。 ・それで、今現在、人口減少世代に入っていますよね。長野県知事も人口戦略検討会の審議会の委員をやっておられますけども、2100年には日本の人口が半減すると言っていますよね。6000万人ぐらいに。 ・中野市や地方の小都市を見ると、人口減少に加えて過疎化とか、よりスピードが速く、日本全体よりももっと早く進んでいるように思います。 ・その問題を、今ここで取り上げても対応できませんのでね。 ・対応できないと思います。皆さんそれなりの知識もありません。私は断言します。 ・問題は今挙げられた6項目について、これは基本構想で挙げられたNNの1から6に相当しますよ。

	<ul style="list-style-type: none"> ・その中で、いわゆる戦略的にやっていくという戦略構想を最初に述べられているんです。 ・でも、これ全部やったらどうなりますかね。 ・人口減少の中で、今ここで聞きたいと思います。 ・ここで今はっきりさせておかないと、議論そのものが進みません。 ・ここでしっかりと説明してください。
E委員	<ul style="list-style-type: none"> ・限られた時間の中でやっていますので、今おっしゃられたご自身の主張は述べる場ではないというふうに思ってます。 ・基本計画に関してのご意見を頂戴するべきだと思います。
D委員	<ul style="list-style-type: none"> ・結局ですね、1から6はNNの1から6に相当するんですよ。 ・わかります？
E委員	<ul style="list-style-type: none"> ・わかります。
D委員	<ul style="list-style-type: none"> ・でもそのときに、基本構想では戦略的だと言っているのだから、それに伴う財務・財政も検討されているはずなんで。 ・今ここに挙げられた1から6については、全部お金かかりますよね。 ・大丈夫なんですか、将来。それを聞きたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・この基本計画の策定に当たっては、並行して長期財政計画についても庁内で議論しております。 ・最終的に策定されたときには、付帯資料として、わかりやすい長期の財政計画を示して同時に公表していく考えであります。
D委員	<ul style="list-style-type: none"> ・基本構想で戦略的と言って、NN1から6を上げているわけですから、そういう政策を良しとしているわけですよ。 ・基本的には全く同じことをやっているんですよ。 ・だからそういう戦略の一貫性からすれば、今ここでやるのは遅すぎるわけなんですよ。わかりますか。
市川会長	<ul style="list-style-type: none"> ・意見としてお聞きするということで、よろしいですか。
D委員	<ul style="list-style-type: none"> ・よろしくない。 ・答えがない。今ここで、皆さんに説明してください。 ・今その説明ができなくて、何でこの会議をやるんですか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・基本構想のみで戦略的というわけではなくて、総合計画全体の中で戦略的な計画ということです。
D委員	<ul style="list-style-type: none"> ・そういう面から言えば、我々の任期は2年ですよ。条例で決められていますからね。 ・そういう意味では前期計画もそうですが、後期計画があるんですよ。 ・それともう1つ、まちづくり基本計画に相当する計画がありますよね。 ・それと一緒に条例では書いてありますけども、基本的にそういうところの話は、基本構想である程度決着つけとかないといけませんよね。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・まず、この会議の関係ですが、この前までは「基本構想」として市の根本的な理念だとかそういうものを皆さんともお話をしながら、議会でも認められたものであります。

	<ul style="list-style-type: none"> ・またその下に「基本計画」というものがありまして、この基本計画の部分を今皆さんにお諮りしながら、ご意見等をいただいているわけでありまして。 ・その下にはまた「実施計画」というものがあります。 ・これは3年の計画で、しかもお金を伴った計画であります。 ・この3つを合わせて「総合計画」というものになります。 ・今は基本計画というものを皆さんに議論いただいているということでありまして、予算関係となりますと、この下の実施計画、または毎年度立てる予算での関係となります。 ・今日皆さんにお集まりいただいているのは、基本計画の部分でお話をさせていただきたいということでございます。
D委員	<ul style="list-style-type: none"> ・何かよくわかりませんね。 ・基本計画はいいんですよ。いいのだけでも、基本計画というのは。一番最上位の計画は総合計画で、そこに書いてありますよね。 ・だから最上位の計画に対し、戦略的に進めているんだから、財政も含めてNN1からNN6まであげているんですよ。こういうことをやりたいということですね。 ・だけど、そういう中で、何でそのときにNN1からNN6までを上げて、また同じようなことを今ここでやるんですか。 ・やってきていないからこそ、やるんじゃないですか。おかしいよ。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・財政的なお話の件もあるのですが、当然、基本構想を実現するために今回示した基本計画がありまして、この方向性を示す中で、今度実施計画なり毎年の予算の中で反映したりして、事業を実施していくと。 ・お金の使い方をどうしていくかっていうのがこの基本計画にあたります。 ・具体的な金額については今後の実施計画、また予算で反映して参ります。
D委員	<ul style="list-style-type: none"> ・この今の総合計画ですか。実施計画を見ると、1ページ目だったかな。基本構想の具現化に努めるって書いてありますよ。 ・それでもう一つ言えば……
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・今、政策1についてのご意見をお聴きしていますので、1についての意見をいただきたいです。
D委員	<ul style="list-style-type: none"> ・他の委員だって、全体のことを言っていたじゃない。 ・じゃあ、政策1の財政的な措置はどうなっていますか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・先ほど事務局から説明したとおり、今後、実施計画や予算でお示ししていくものです。 ・また、総合計画を策定する際には、長期の財政推計も資料としてお付けする予定であり、そちらでもお示ししていきます。
D委員	<ul style="list-style-type: none"> ・議論がないじゃないですか。 ・今、人口減少の中で、何をしなければいけないのかってことを議論してるんですよ。そうでしょう。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・計画のあり方や位置づけについては、また改めて個別にしっかり説明させていただきますと思います。

	<ul style="list-style-type: none"> ・本日は、各委員さんもお忙しい中出席いただいております、それぞれの立場でご意見をいただいてこの計画案に反映をしていきたいと思っております。
D委員	<ul style="list-style-type: none"> ・それは、この会をやる前にきちんと説明しなければいけないことなんです。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・前回までの審議会でも、計画の位置づけを説明させていただいております。
D委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の資料をよく読めば、市長が交代したときに、市長の政策を反映するということがありますよ。 ・そんなのわからないじゃないですか ・なぜそんなことを審議会で決めるんですか。おかしい話じゃないですか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・以前も基本構想のときに申し上げたとおり、審議会設置の趣旨も申し上げておりますし、審議をいただきたい内容、先ほど市長からの諮問をして、その内容についてご議論をいただきたいということで説明しております。 ・計画のあり方、そもそも論の話については、別途また個別にしっかりお話をさせていただきます。
D委員	<ul style="list-style-type: none"> ・戦略的ということで、財政はどうなるんだと。将来人口が減少する中で、それについて一言、言ってくだされればそれで済む話なんだ。 ・何か紙一枚、将来のシミュレーションしたものはあるんですか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・財政的な面や、予算の具現化と部分は、この後の実施計画または毎年の予算で示していきます。 ・その際に、長期財政計画や経常収支比率等をお示しして参ります。 ・基本計画の中で、実際の額についてはお示しできない。 ・ご説明することができないということで、今回は方向性なり、主な取組なり具体的な内容を議論していただきたいと思っております。
D委員	<ul style="list-style-type: none"> ・方向性が理解できない。 ・方向性は間違っていないよ。間違っていないけれども、今は戦略的な対応として、人口減少の中で何をやるんだということが求められているわけでしょう。
市川会長	<ul style="list-style-type: none"> ・このような話をしていますと、1日あっても話がまとまらないと思っております。
D委員	<ul style="list-style-type: none"> ・でも任期は2年間あります。
市川会長	<ul style="list-style-type: none"> ・それは結構です。 ・ここでは、ご提案を頂戴できればという形ですので、行政提案があったところで、「私はこうなんだけど」というような形で意見を頂戴できる方が、より良い形になるのではないかと思うんです。 ・それを、批判で終始してしまいますと前に進みませんし、話がまとまらなくなってしまいます。
D委員	<ul style="list-style-type: none"> ・前に進める気はないです。 ・だって、市がやることやってないのだから。
市川会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ただ、市の大きなあらすじを作ろうとしているところでもありますので、どうかご提案を頂戴できればという格好で進めさせていただきたいです。
D委員	<ul style="list-style-type: none"> ・だってそれじゃあ遅いじゃないですか。 ・今この会議に反映させないと、終わっちゃってる。

市川会長	<ul style="list-style-type: none"> ・本当に恐縮ですが、もうスタートして 45 分経って、まだ 1 つ目なんですけれども。
D 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・それは進め方が悪いから。
市川会長	<ul style="list-style-type: none"> ・申し訳ございません。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的なお話は、会議終了後に事務局でお聴きします。
D 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・私は、混乱させるつもりはないんです。 ・やっぱり中野市の未来を明るくするという立場で、今のやり方がおかしいんじゃないかということ言ってるわけです。 ・だからそれについては、今日この紙に書きます。 ・前回もそのような趣旨のことを言ったのですが、全然反映されてないので、そういう意味で今日は言っているわけです。
市川会長	<ul style="list-style-type: none"> ・1 番については、以上でよろしいでしょうか。 ・それでは、基本政策 2 についてのご質問、ご意見等お願いします。 <<意見等なし>> ・政策 2 についてはこちらの提案で、進ませてもらいたと思います、よろしいでしょうか？ <<異議なし>> ・ありがとうございます
市川会長	<ul style="list-style-type: none"> ・次に、基本政策 3 についてのご質問、ご意見等お願いします。
A 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・農業の関係で、耕作放棄地について。 ・私も会社を退職してからやっておりますが、私の地域でも耕作放棄地が問題になっています。 ・農業の人口、年齢について、70 歳を超えている人がほとんどかと思えます。それらの方への支援を充実していただきたい。 ・また、中野市、農業委員会、土地改良区、大規模事業主の連携の更なる強化を望みます。 ・今も土地改良の関係で役をやっているが、畑かんの関係で、もうやられていない方で、賦課金を滞納されている方がいる。 ・このような関係も、基本計画に書いていただければありがたいです。 ・これからの農業を維持していくためにも、必要ではないかと思えます。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・どうもありがとうございます。 ・農業の関係は、特に土地利用構想の関係で詳しく書かせていただきました。 ・25 ページについては農林業の販売のことが書かれていて、26 ページは生産のことが書かれているのですが、ご指摘のとおり、農業機関の連携強化等について検討させていただきたいと思えます。
F 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・有害鳥獣駆除の関係で、全国的にもクマ出没等が話題になっています。 ・中野市でも対策はしているのですが、猟友会員の高齢化が非常に進んでいるということで、そういった関係の支援策に取り組んでいただきたいです。 ・それから 27 ページの認定農業者数ですが、もう少し認定農業者数に目を向けて、農業王国・中野市をアピールしていただきたいと思えます。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ どうもありがとうございます。 ・ 有害鳥獣対策につきましては、28 ページにもしっかり書かれてるとおり、支援を行いますと。支援を行いますということは、財政的な支援をしっかりと行っていきたいという表れであります。 ・ 27 ページ、認定農業者の関係についても、しっかり支援をしていかなきゃいけないのですが、逆に踏み込んでお聞きしたいのですが、基準値と目標値が実は同じ数字であるのです。 ・ 普通、目標数値は少し増やした方がいいという意見もあるし、ただ将来的にも議論した中で、現状維持を目指していきたいということなのですが、そのあたりのことも、委員さんからご意見があればお願いします。
D委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 耕作放棄地の問題がありました、私も U ターン者であって、今はそういう問題に直面しております。 ・ これを解決するのは、個人の家単位では解決できません。 ・ 後継者がいないと駄目ですよ。 ・ 後継者がいるということは社会に面倒見るといえるか、そういうことになると思うのです。 ・ だからやはり後継者ができうるような政策、それに結びつけていただければと非常にいいのかなというふうに思います。 ・ 農業はこれから、いわゆる世界人口が減少していく中で、食料が安定して取れていけば、割と皆さん安心ですよ。生きていけるという。 ・ だからそういう意味で農業が非常に大切だと思いますので、そういう意味での社会の役割、これを考えていただきたいというふうに思います。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 27 ページのところにも新規就農者への支援ということで、農業後継者、新規採用者に対して必要な支援を行っていきますということで、しっかり位置づけをさせていただいております。 ・ 委員のおっしゃるとおり、しっかり取り組んでいきたいと思っております。
市川会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本政策 3 については、以上でよろしいでしょうか。 ・ それでは、基本政策 4 についてのご質問、ご意見等お願いします。
D委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一点だけちょっと。「ふるさとを学び育つ」とありますがけども、20 年ほど前に豊田村が中野市に合併するとき、これできたはずですよ。 ・ だけど、20 年前はちょうど人口減少が始まるか始まらないかという時期であって、それから 20 年たっています。 ・ 今は明らかに人口減少が進んでおります。特に地方の人口減少。 ・ だからそういう中で、どうやって活路を見いだしていくのかということ NN という取組を提案されているんですから、それはねそれで非常にいい取組だと思います。 ・ だけどそれが、これ 20 年前に作ったものですよ。 ・ 本当にそれだけでいいのかって。もう少し言葉を書いた方がいいんじゃないかなというふうに思います。

	<ul style="list-style-type: none"> ・DXとか、コンピュータとかをITとかね。AIとかそういうものも、そういう面の進歩を取り入れてやったらいいのではないかと思います。 ・それがこれからの生きる道、いわゆる差別化に繋がるのではないかなというふうに思っています。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・基本政策の「ふるさとを学び育つ文化のまちづくり」という件名についてですかね。 ・表題については変更することはできないものであります。 ・ご意見いただいたDX化についても、36ページの図書館サービスの充実の中で、ICタグシステム等、要所要所に記載してあります。 ・また全体の中で、どのぐらいDX化のことを明記できるか、また庁内で検討させていただきます。
市川会長	<ul style="list-style-type: none"> ・基本政策4については、以上でよろしいでしょうか。 ・それでは、基本政策5についてのご質問、ご意見等お願いします。
E委員	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通について、買い物とか移動に困っている方は豊田地域の方でいらっしゃると思います。 ・現状、移動支援は社協、買い物支援は高齢者支援課、公共交通は企画財政課というように、それぞれの担当課で担って進めていただいています。 ・今、買い物に困っている方たちを総合的にどういう形で支えていけるかっていうことを、それぞれ担当部署の部門の役割はあると思うのですが、全体的に見て運営をしていただきたいです。 ・例えばふるさとまつりと健康づくりフェアというものを同じ日に開催させていただいたのですが、去年は全然違う日に実施しました。 ・それを一本化でできる形でやらせていただいたので、できればそういう統合とか、全体的に見て統一できるような方向でご検討いただければと思います。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘のとおり、縦割りの弊害といいますか、重々感じておりました。 ・特に公共交通につきましては、路線バスについては高校生が主な利用者で、高校生の足の確保というと「教育」、高齢者の移動支援というと「高齢者支援課」、通勤の人についてはどこか、という。 ・この公共交通についても、十分連携をとってしっかりやっていかななくてはいけない内容であり、なおかつ利用者を特定し、特化して取り組んでいかななくてはいけないという部分も、大変難しい内容ではあるのですが、全般を通じてやっていかななくてはいけないと思っております。 ・縦割りの弊害なり、そこを省いて対応できるように、例えば持続可能な公共交通の運行改善についても、主担当が企画財政課になってはいますが、実際には教育だとか高齢者支援課だとか、いろんな関係があると思いますので、再度庁内で検討させてください。
D委員	<ul style="list-style-type: none"> ・難しいからこそ、私は取り組んでほしいと思います。 ・今の新しい日本の内閣ですか。

	<ul style="list-style-type: none"> ・そこでもやっぱり縦割りの弊害があって、いろいろ戦略がね、対処療法的に進められています。 ・それを解消するために、新たに一つ一つ担当大臣を定めていますよね。 ・だから、中野市はそういうことを見習って、全体がレベルアップしていくように取り組んでほしいと思います。 ・社会ふれあいバスとか消防とかね。 ・これから買い物弱者など、今後も少子化社会では必ず問題になります。 ・もう既に問題になっているわけですからね。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・承知しました。
市川会長	<ul style="list-style-type: none"> ・基本政策 5 については、以上でよろしいでしょうか。 ・それでは、基本政策 6 についてのご質問、ご意見等お願いします。 <<意見等なし>> ・政策 6 についてはこちらの提案で、進ませてもらいたいと思いますが、よろしいでしょうか？ <<異議なし>> ・ありがとうございます
市川会長	<ul style="list-style-type: none"> ・最後に、第 3 章について、ご質問、ご意見等お願いします。
A 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・62 ページのところ、健康寿命の基準値ですけど、これはどういう年齢のことなんですか。 ・平均寿命ではないですね。 ・平均寿命にプラスした年齢ということでしょうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・16 ページの欄外に、注釈をつけさせていただいております。 ・介護保険の要介護認定者数を用いて算出した日常生活動作が自立している期間のことです。
A 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・平均寿命というと、健康寿命より 10 歳くらい若いという認識があり、そういうことではないですか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・もう一度、もう少しわかりやすくご説明できるようにしますので、一度検討させてください。
市川会長	<ul style="list-style-type: none"> ・おおむね、会議の目安の 1 時間が過ぎましたので、他にご意見がある方は、記入用紙に記入して事務局の方まで提出をお願いします。

6 その他

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・2 点ございます。 ・1 点目ですが、次回の会議につきましては 11 月 28 日（金）午後 3 時から市役所で開催をしたいと思っております。 ・2 点目ですが、本日お配りしました資料の中で本日の説明に対するご意見を書いていただく用紙を用意しております。 ・本日発言できなかったご意見やご提案等ございましたら、11 月 20 日までにご提出をお願いします。次回の審議会の資料等にもしていきたいと思っております。
-----	---

	<ul style="list-style-type: none">・その他は以上でございます。
市川会長	<ul style="list-style-type: none">・それでは、以上をもちまして第4回中野市総合計画審議会を閉会とさせていただきます。・皆様、大変お疲れ様でした。

7 閉 会 (11 : 10)